

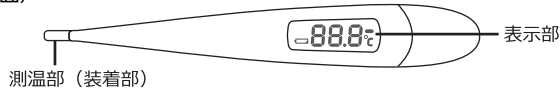
機械器具 16 体温計  
管理医療機器 電子体温計 (JMDNコード：14032010)

# テルモ電子体温計C207

## 【形状・構造及び原理等】

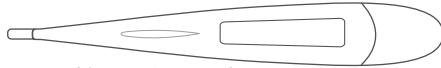
### <構造図>

- 本体 (正面)

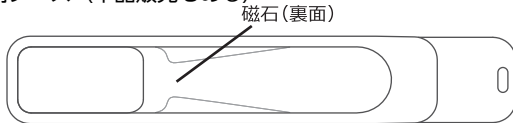


測温部 (装着部)

(背面)



- 収納ケース (単品販売もある)



- 表示部 ※説明のため、全点灯で表示

- ・初期動作確認機能 (告知機能)  
電源が入った時に所定の表示をし、検温可能を告知する。
- ・エラー表示機能 (告知機能)  
検温不良時、ブザーが鳴動し、表示部に「E」を表示する。
- ・使用温度範囲外表示機能 (告知機能)  
使用周囲温度が、使用条件の範囲外の場合は、表示部に「Hi」又は「Lo」のマークを表示する。
- ・体温値点滅表示機能 (告知機能)  
体温計の測温部が大きくずれた場合等で正常な予測検温が行われなかった際は、その旨を体温値の点滅で告知する。
- ・動作不能告知表示機能 (告知機能)  
体温計が動作異常を検知した場合は、「EE」のマークを表示する。

「電池電圧低下」マーク

電池電圧が低下すると、「電池電圧低下」マークが点滅する。さらに電池電圧が低下すると、他の表示が消灯し、「電池電圧低下」マークが点灯する。



「予測」マーク

予測中及び予測値表示中に点灯する。

外観寸法：長さ129mm×幅17.6mm×厚さ12.6mm

質量：約13.0g (電池含む)

### 【機器の分類】

電撃に対する保護の形式による分類：内部電源機器

電撃に対する保護の程度による装着部の分類：BF形装着部 (A)

水の浸入に対する保護：IPX7

### 【電気的定格】

電源：アルカリマンガン電池 (LR41) 2個 (交換不可)

電圧：DC3.0V 消費電力：約0.3mW

### <原理>

本品は、サーミスタの抵抗変化を利用して温度を検出し、検温開始から約4分30秒までは予測値、それ以降は実測値の最高値をデジタルで表示する。検温中は、平均約30秒(おおよそ25秒~40秒)で予測が成立したことを知らせるブザーが鳴り、検温をそのまま続けると、検温開始から約10分後に実測検温終了のブザーが鳴る。

### 【仕様に係る事項】

最大許容誤差 (温度指示特性)：±0.1℃以内 (標準温度計に対して)

測温範囲：32.0~42.0℃

使用条件：周囲温度 10~40℃

相対湿度 30~85%RH (ただし、結露なきこと)

周囲気圧 700~1060hPa

## 【使用目的又は効果】

### <使用目的>

測温部を部位に接触させて、腋窩の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示すること。

## 【使用方法等】

### 【測定方法】

1. 体温計を収納ケースから取り出す (電源が入る)。
2. 体温計の先端 (測温部) をななめ下から30° くらいの角度でワキ下中央に押し上げるようにあてて、ワキをしっかりしめる。
3. 検温終了後、体温計を収納ケースに入れる (電源が切れる)。

### <使用方法等に関連する使用上の注意>

1. 子供だけで使わないこと。
2. 引火性のある環境では使用しないこと。
3. 以下の項目は予測/実測精度に影響するため、注意すること。
  - (1) 飲食後、運動後、入浴後、外出から帰宅後はすぐに検温せず、30分ほど待ってから測ること。
  - (2) ワキ下に汗をかいている場合は、タオル等で汗を拭き取ること。
  - (3) 検温中は、体を動かしたり、体温計を動かしたりしないこと。
  - (4) ワキ下に強く密着させて測定すること。
  - (5) くり返し検温するときは、少し時間をおくなど体温計の先端 (測温部) を冷ましてから検温すること。
4. 強い静電気や電磁波、磁石等に近づけないこと。携帯形RF通信機器 (アンテナケーブル及び外部アンテナなどの周辺機器を含む) を、体温計のあらゆる部分から30cmよりも近づけないこと。
5. 本品は、衝撃、振動、塵埃、噴霧、腐食性ガス等の発生する場所で使用しないこと。
6. 分解、修理、改造は行わないこと。
7. 体温計を廃棄する際は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法) に従って適切に廃棄すること。

## 【使用上の注意】

### <重要な基本的注意>

本品の表示部を強く押さえたり、ボールペンやツメ等、硬いもの、先の尖ったものでつついたりしないこと。

## 【保管方法及び有効期間等】

### <保管方法>

暖房器具のそば、車の中、日光のあたるところ、ほこりの多いところ、湿気の多いところを避けて保管すること。

保管条件：周囲温度 -10~50℃

相対湿度 30~95%RH (ただし、結露なきこと)

周囲気圧 700~1060hPa

### 【保管上の注意】

電池の寿命が短くなるので、必ず収納ケースに収めて保管すること。

### <耐用期間>

耐用期間：5年、あるいは連続使用で、約10,000回 (予測検温) (自己認証による)

## 【保守・点検に係る事項】

### 【保守点検上の注意】

1. 本体と収納ケースを洗う際は、水で洗うこと。収納ケースに収める際は、乾いた布等で水気を拭き取ること。
2. 消毒する際は、消毒用アルコール綿で清拭して自然乾燥させること。
3. 使用可能な消毒液 (成分名) の例は以下のとおりである。  
クロルヘキシジングルコン酸塩/ベンザルコニウム塩化物/次亜塩素酸ナトリウム/グルタラル
4. 必要時間以上、消毒液につけないこと。必要な時間、濃度については消毒液の電子添文を参照すること。
5. 熱湯消毒 (50℃以上) しないこと。

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：テルモ株式会社

電話番号：0120-12-8195 テルモ・コールセンター

外国製造業者：泰尔茂医療産品 (杭州) 有限公司

Terumo Medical Products (Hangzhou) Co., Ltd.

国名：中華人民共和国

取扱説明書を必ずご参照ください。

**TERUMO**